



スマイル天神 No.10



令和3年6月7日
天神小学校
校長 木下 和弥

思いやりのある子・進んで学ぶ子・明るくたくましい子

6月1日「いのちを見つめる講話」から

先週、6月1日は「いのちを見つめる日」でした。朝から校長講話「いのちを見つめる講話」を行いました。その内容を紹介します。

今からヒントを出しますので、何なのか、予想してください。ヒントです。みんなが一つもっているもの。生きている間だけでなく、亡くなってからも使うもの。自分で決めることができないもの。途中で変えることができないもの。家族からもらう最初のプレゼント。大切な思いこもっているもの…。

答えは「名前」です。みなさんの名前には、家族の思いがたくさん詰まっています。ちなみに、校長先生の「和弥」という名前。

「和」には、みんなと仲良くするという思いが込められています。

「弥」の字は、校長先生が、昔は「弥生」と呼んでいた3月に生まれたので、この字を使ったと校長先生の両親から聞きました。みなさんも、よければおうちの人から、自分の名前の理由をきいてください。

みなさん、自分の名前も友達の名前も大切にしていますか？名前を大切にすることは、自分も大切にし、人も大切にし、自分や人の家族も大切にすることです。では、名前を大切にするためには、どのようなことに気を付ければいいでしょうか。

一つ目。名前を書くときは、ていねいに書きましょう。これから一番たくさん書く文字が自分の名前です。家族からもらった大切な名前。ていねいに書くようにしましょう。

二つ目。名前を呼ぶときには、心を込めて呼ぶということです。友達の名前をきびしく呼ぶと、そのあとの話もきびしくなります。しかし、相手の名前を、心を込めて大切に呼べば、そのあとの話は優しい話になります。嫌なあだ名で呼ぶということは、心を込めて名前をつけた家族も傷つけることになります。名前を呼ぶときは、心をこめて、大切に呼びましょう。

命を大切にすることは、いろいろなものを大切にすることです。自分を大切に。友達を大切に。毎日を大切に。言葉を大切に。そのような中で、「名前」も大切にしてください。

はじめてのリモートでの講話でした。校長室で話す様子を各教室のテレビに出力する方法で行いました。

できるだけ1年生から6年生までわかる内容を、できるだけ抽象的にならないように、具体的になるように、毎日の生活に生かされるように、そのような思いで話をしました。

ぜひ、ご家庭でもいのちの大切さについてお話しくださいますよう、お願いいたします。



いのちの講話、教室での様子